



2020年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年5月13日

上場会社名 株式会社島精機製作所 上場取引所 東
 コード番号 6222 URL <https://www.shimaseiki.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 島 三博
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経理財務部長 (氏名) 南木 隆 (TEL) 073-471-0511
 定時株主総会開催予定日 2020年6月25日 配当支払開始予定日 2020年6月26日
 有価証券報告書提出予定日 2020年6月26日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期の連結業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	33,206	△35.3	△5,602	—	△5,583	—	△8,427	—
2019年3月期	51,352	△28.5	4,638	△68.9	4,991	△67.8	3,835	△66.0

(注) 包括利益 2020年3月期 △8,985百万円(—%) 2019年3月期 3,513百万円(△66.3%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	△239.68	—	△7.4	△4.0	△16.9
2019年3月期	105.62	105.54	3.1	3.3	9.0

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 一百万円 2019年3月期 一百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	130,695	107,950	82.6	3,126.86
2019年3月期	145,146	121,166	83.5	3,411.08

(参考) 自己資本 2020年3月期 107,911百万円 2019年3月期 121,132百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	3,776	△3,085	△5,555	21,582
2019年3月期	9,935	△872	△6,540	26,849

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期	—	30.00	—	25.00	55.00	1,983	52.1	1.6
2020年3月期	—	20.00	—	15.00	35.00	1,227	—	1.1
2021年3月期(予想)	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 2021年3月期の配当予想については未定であります。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染拡大により、当社グループの事業活動への影響を合理的に算定することが困難であることから、現時点においては未定とさせていただきます。
 今後、合理的に算定することが可能となった時点で速やかに開示いたします。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
 新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
 ② 期末自己株式数
 ③ 期中平均株式数

2020年3月期	35,800,000株	2019年3月期	36,600,000株
2020年3月期	1,288,926株	2019年3月期	1,088,459株
2020年3月期	35,162,078株	2019年3月期	36,311,682株

(参考) 個別業績の概要

1. 2020年3月期の個別業績（2019年4月1日～2020年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	26,096	△33.7	△5,807	—	△5,775	—	△8,053	—
2019年3月期	39,352	△35.5	1,706	△84.3	2,233	△78.6	3,272	△56.3
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2020年3月期	△229.05		—					
2019年3月期	90.12		90.05					

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円 銭		
2020年3月期	113,863		92,614		81.3	2,682.88		
2019年3月期	126,552		104,745		82.8	2,949.07		

(参考) 自己資本 2020年3月期 92,588百万円 2019年3月期 104,726百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染拡大により、当社グループの事業活動への影響を合理的に算定することが困難であることから、現時点においては未定とさせていただきます。
 今後、合理的に算定することが可能となった時点で速やかに開示いたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	13
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	13
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	18
(重要な後発事象)	18
4. その他	19
(1) 受注及び販売の状況	19

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における経済の動向は、米国では保護主義的な通商政策の長期化から製造業の景況感が悪化し、欧州でも製造業の生産の低下、輸出の減少が見られました。中国においても内需や設備投資が低迷し、わが国においても輸出が伸び悩むなど減速感が増しました。加えて、第4四半期に入り中国で発生した新型コロナウイルス感染症が全世界に拡大する中で、世界経済の先行きには一段と厳しさが強まりました。

このような状況の中、当社グループが製品を供給するアパレル産業においては経済の先行き懸念とともに環境負荷軽減への取り組みから、商品の過剰生産や在庫数量を抑制する動きが顕著となり、工場サイドでも設備投資マインドは低調なまま推移しました。

当社グループはこうしたユーザー業界の課題解決に向けて、当社製品を活用した適時適量生産体制への転換を訴求することで投資意欲を喚起することに注力しましたが、売上高の回復には繋がらず、当連結会計年度の全体の売上高は332億6百万円（前期比35.3%減）となりました。

利益面におきましては、売上高の大幅な減少に加えて生産調整に伴い売上総利益率が悪化したことなどで、営業損失56億2百万円（前期は営業利益46億38百万円）、経常損失は55億83百万円（前期は経常利益49億91百万円）、また投資有価証券評価損などの特別損失の計上および繰延税金資産の取り崩しなどで親会社株主に帰属する当期純損失は84億27百万円（前期は純利益38億35百万円）といずれも大幅な減益となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

(横編機事業)

当社のコア・ビジネスである横編機事業の状況は、アジア地域では中国、バングラデシュ、ベトナムなどのOEM型生産工場において先進国アパレルからの受注が減少したことで設備投資計画が見直され、コンピュータ横編機の売上高が落ち込みました。また中国市場では近年、OEM型生産から企画提案型・高付加価値商品の内地生産体制へと転換を図る動きが拡がり、ホールゲーム横編機の導入が拡大していましたが、内需の低迷を受けて販売台数が減少しました。

中東のトルコにおいては第3四半期から第4四半期にかけて欧州アパレル向けの生産量が拡大し、設備投資が回復傾向となりましたが、通期では前期の売上高に及びませんでした。

先進国市場の欧州や北米、国内市場においても総じてコンピュータ横編機の売上高は前期に比べて減少しました。

これらの状況に加えて、第4四半期には新型コロナウイルス感染症の拡大により、世界各地で工場の操業停止や営業活動の中断を余儀なくされ、販売が低調となりました。

これらの結果、横編機事業の売上高は228億77百万円（前期比41.0%減）となりました。

(デザインシステム関連事業)

デザインシステム関連事業では、従来機種と比較して処理速度が最大6倍にアップしたアパレルデザインシステム「SDS-ONE APEX 4」を投入し、ハイクオリティな3Dバーチャルシミュレーションの活用による画期的な生産・流通のビジネスモデル転換を提唱しましたが、コンピュータ横編機の販売不振に連動して売上高は減少しました。

また自動裁断機「P-CAM」についても、国内、海外市場ともにテキスタイル分野での需要の落ち込みにより販売が低調となりました。

これらによりデザインシステム関連事業の売上高は36億11百万円（前期比17.6%減）となりました。

(手袋靴下編機事業)

手袋靴下編機事業は、大手ユーザーの設備投資が減少し、売上高は10億54百万円（前期比32.2%減）となりました。

(その他事業)

その他事業については、メンテナンス部品や紡毛糸、ニット製品の販売などで、売上高は56億63百万円（前期比14.3%減）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における総資産は、おもに現金及び預金、受取手形及び売掛金の減少などで、前期末に比べて144億51百万円減少し、1,306億95百万円となりました。負債合計は買掛債務や短期借入金金の減少などで前期末に比べて12億34百万円減少し、227億44百万円となりました。純資産は利益剰余金の減少や自己株式の消却などで132億16百万円減少し、1,079億50百万円となりました。また、自己資本の額は前期末に比べて132億21百万円減少し1,079億11百万円となり、自己資本比率は前期末より0.9ポイント低下し82.6%となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前期末に比べて52億66百万円減少し、215億82百万円となりました。

各活動別のキャッシュ・フローの状況は次の通りであります。

[営業活動によるキャッシュ・フロー]

税金等調整前当期純損失の計上となりましたが、売上債権の減少や減価償却費の計上などにより、当連結会計年度における営業活動によるキャッシュ・フローは37億76百万円の資金の増加となりました。（前期は99億35百万円の資金の増加）

[投資活動によるキャッシュ・フロー]

有形固定資産の取得や投資有価証券の取得による支出などにより、当連結会計年度における投資活動によるキャッシュ・フローは30億85百万円の資金の減少となりました。（前期は8億72百万円の資金の減少）

[財務活動によるキャッシュ・フロー]

自己株式の取得による支出や配当金の支払いによる支出などにより、当連結会計年度における財務活動によるキャッシュ・フローは55億55百万円の資金の減少となりました。（前期は65億40百万円の資金の減少）

(4) 今後の見通し

今後の事業環境につきましては、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大傾向がいまだに続いており、収束の時期や経済活動の落ち込みの影響をまったく見通すことができず、先行きは非常に不透明な状況にあります。アジア地域の生産拠点では正常稼働できる状態に戻りつつありますが、欧米の主要国における都市封鎖や外出自粛によりアパレル消費が極端に落ち込んでいることから、先進国アパレルから工場への発注がキャンセルや延期されるなど、生産の正常化の時期などは予測できない状況にあります。

このような状況のため、2021年3月期の連結および個別業績予想については合理的な算定が非常に困難なため、現時点においては未定とさせていただきます。今後、合理的に算定することが可能となった時点で速やかに開示いたします。

なお、2021年3月期配当予想につきましても、業績予想と併せて開示いたします。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、今後につきましては、国内外の情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	26,920	21,641
受取手形及び売掛金	56,784	51,248
商品及び製品	11,821	10,563
仕掛品	793	840
原材料及び貯蔵品	6,673	7,007
その他	1,854	1,266
貸倒引当金	△1,993	△3,097
流動資産合計	102,854	89,470
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	26,935	27,105
減価償却累計額	△19,814	△20,272
建物及び構築物(純額)	7,121	6,833
機械装置及び運搬具	6,818	6,912
減価償却累計額	△4,734	△4,946
機械装置及び運搬具(純額)	2,083	1,966
工具、器具及び備品	7,762	7,953
減価償却累計額	△6,646	△6,869
工具、器具及び備品(純額)	1,115	1,083
土地	11,665	12,158
リース資産	7,339	8,330
減価償却累計額	△3,958	△4,779
リース資産(純額)	3,380	3,551
建設仮勘定	213	1,371
有形固定資産合計	25,579	26,964
無形固定資産		
のれん	2,987	2,566
その他	364	365
無形固定資産合計	3,352	2,931
投資その他の資産		
投資有価証券	7,834	7,515
退職給付に係る資産	1,156	1,276
繰延税金資産	1,596	499
その他	5,321	4,004
貸倒引当金	△2,547	△1,967
投資その他の資産合計	13,361	11,328
固定資産合計	42,292	41,224
資産合計	145,146	130,695

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,484	2,112
電子記録債務	520	416
短期借入金	8,879	8,162
リース債務	818	951
未払法人税等	168	118
賞与引当金	1,176	1,196
債務保証損失引当金	342	293
その他	4,572	4,041
流動負債合計	18,962	17,292
固定負債		
長期末払金	993	974
リース債務	2,861	2,932
再評価に係る繰延税金負債	23	23
退職給付に係る負債	725	730
その他	412	791
固定負債合計	5,017	5,452
負債合計	23,979	22,744
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,859	14,859
資本剰余金	25,867	23,423
利益剰余金	91,440	81,415
自己株式	△3,743	△3,937
株主資本合計	128,424	115,761
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	63	306
土地再評価差額金	△7,003	△7,003
為替換算調整勘定	△770	△1,488
退職給付に係る調整累計額	418	336
その他の包括利益累計額合計	△7,292	△7,849
新株予約権	19	25
非支配株主持分	14	14
純資産合計	121,166	107,950
負債純資産合計	145,146	130,695

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	51,352	33,206
売上原価	28,196	21,577
売上総利益	23,155	11,629
販売費及び一般管理費	18,516	17,231
営業利益又は営業損失(△)	4,638	△5,602
営業外収益		
受取利息	296	430
受取配当金	198	148
受取賃貸料	141	128
その他	577	525
営業外収益合計	1,213	1,233
営業外費用		
支払利息	456	199
為替差損	238	812
貸倒引当金繰入額	50	42
その他	116	159
営業外費用合計	860	1,214
経常利益又は経常損失(△)	4,991	△5,583
特別利益		
投資有価証券売却益	147	-
固定資産売却益	16	-
国庫補助金	23	-
特別利益合計	188	-
特別損失		
固定資産除売却損	20	-
投資有価証券売却損	27	37
投資有価証券評価損	-	891
関係会社株式評価損	-	29
減損損失	-	10
代理店解約損	31	-
特別損失合計	80	969
税金等調整前当期純利益又は 税金等調整前当期純損失(△)	5,099	△6,552
法人税、住民税及び事業税	995	393
法人税等調整額	268	1,480
法人税等合計	1,263	1,874
当期純利益又は当期純損失(△)	3,836	△8,427
非支配株主に帰属する当期純利益	0	0
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失(△)	3,835	△8,427

連結包括利益計算書

	(単位：百万円)	
	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益又は当期純損失 (△)	3,836	△8,427
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△878	242
為替換算調整勘定	564	△718
退職給付に係る調整額	△8	△82
その他の包括利益合計	△322	△557
包括利益	3,513	△8,985
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	3,512	△8,985
非支配株主に係る包括利益	0	0

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	14,859	25,867	89,978	△258	130,447
当期変動額					
剰余金の配当			△2,373		△2,373
親会社株主に帰属する 当期純利益又は 親会社株主に帰属する 当期純損失(△)			3,835		3,835
自己株式の取得				△3,485	△3,485
自己株式の消却					—
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	1,462	△3,485	△2,022
当期末残高	14,859	25,867	91,440	△3,743	128,424

	その他の包括利益累計額					新株予約権	非支配 株主持分	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	土地再評価 差額金	為替換算 調整勘定	退職給付 に係る調整 累計額	その他の 包括利益 累計額合計			
当期首残高	941	△7,003	△1,335	427	△6,969	—	13	123,491
当期変動額								
剰余金の配当								△2,373
親会社株主に帰属する 当期純利益又は 親会社株主に帰属する 当期純損失(△)								3,835
自己株式の取得								△3,485
自己株式の消却								—
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)	△878	—	564	△8	△322	19	1	△301
当期変動額合計	△878	—	564	△8	△322	19	1	△2,324
当期末残高	63	△7,003	△770	418	△7,292	19	14	121,166

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	14,859	25,867	91,440	△3,743	128,424
当期変動額					
剰余金の配当			△1,598		△1,598
親会社株主に帰属する 当期純利益又は 親会社株主に帰属する 当期純損失(△)			△8,427		△8,427
自己株式の取得				△2,638	△2,638
自己株式の消却		△2,443		2,443	—
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	△2,443	△10,025	△194	△12,663
当期末残高	14,859	23,423	81,415	△3,937	115,761

	その他の包括利益累計額					新株予約権	非支配 株主持分	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	土地再評価 差額金	為替換算 調整勘定	退職給付 に係る調整 累計額	その他の 包括利益 累計額合計			
当期首残高	63	△7,003	△770	418	△7,292	19	14	121,166
当期変動額								
剰余金の配当								△1,598
親会社株主に帰属する 当期純利益又は 親会社株主に帰属する 当期純損失(△)								△8,427
自己株式の取得								△2,638
自己株式の消却								—
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)	242	—	△718	△82	△557	5	△0	△552
当期変動額合計	242	—	△718	△82	△557	5	△0	△13,216
当期末残高	306	△7,003	△1,488	336	△7,849	25	14	107,950

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益 (又は税金等調整前当期純損失)	5,099	△6,552
減価償却費	2,194	2,453
のれん償却額	403	396
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1,075	650
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△193	△220
受取利息及び受取配当金	△494	△579
支払利息	456	199
為替差損益 (△は益)	93	△37
有形固定資産除売却損益 (△は益)	4	-
投資有価証券評価損益 (△は益)	-	891
投資有価証券売却損益 (△は益)	△119	37
関係会社株式評価損	-	29
減損損失	-	10
売上債権の増減額 (△は増加)	11,864	5,936
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,892	456
その他流動資産の増減額 (△は増加)	△463	380
仕入債務の増減額 (△は減少)	△2,278	151
その他流動負債の増減額 (△は減少)	△2,178	△550
その他	407	△98
小計	13,976	3,554
利息及び配当金の受取額	492	576
利息の支払額	△374	△211
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△4,158	△143
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,935	3,776
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△220	△88
定期預金の払戻による収入	499	99
有形固定資産の取得による支出	△2,657	△2,523
有形固定資産の売却による収入	18	8
投資有価証券の取得による支出	△507	△334
投資有価証券の売却による収入	2,250	102
短期貸付金の純増減額 (△は増加)	-	△50
その他	△256	△298
投資活動によるキャッシュ・フロー	△872	△3,085

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	-	△525
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△657	△794
自己株式の取得による支出	△3,512	△2,638
配当金の支払額	△2,370	△1,597
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,540	△5,555
現金及び現金同等物に係る換算差額	103	△401
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,625	△5,266
現金及び現金同等物の期首残高	24,223	26,849
現金及び現金同等物の期末残高	26,849	21,582

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2019年10月31日開催の取締役会決議に基づき、自己株式1,000,000株の取得を行いました。この結果、当連結会計年度において自己株式が2,638百万円増加しました。また、2020年1月31日開催の取締役会決議に基づき、2020年2月14日付けで、自己株式800,000株の消却を行った結果、当連結会計年度において資本剰余金及び自己株式がそれぞれ2,443百万円減少しました。

なお、当連結会計年度末において資本剰余金が23,423百万円、自己株式が3,937百万円となっております。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(連結子会社の事業年度等に関する事項の変更)

従来、決算日が連結決算日と異なるSHIMA SEIKI U.S.A. INC.、SHIMA SEIKI EUROPE LTD. および SHIMA SEIKI SPAIN, S.A.U. の3社については、連結決算日との差異が3ヶ月以内であるため、当該連結子会社の当該会計期間に係る財務諸表を利用し、連結決算日との間に生じた重要な取引については調整を行った上で連結しておりましたが、連結財務情報開示をより適正化するため、当連結会計期間より、連結決算日に仮決算を行う方法に変更しております。

この変更に伴い、当連結会計年度は2019年1月1日から2020年3月31日までの15ヵ月間を連結しております。

なお、当該子会社の2019年1月1日から2019年3月31日までの売上高は4億32百万円、営業損失は41百万円、経常損失は43百万円、親会社株主に帰属する当期純損失は36百万円であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、本社に営業本部を置き、取り扱う製品・サービスごとに包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社は製品・サービス別セグメントから構成されており、「横編機事業」、「デザインシステム関連事業」、「手袋靴下編機事業」の3つを報告セグメントとしております。

「横編機事業」は、コンピュータ横編機・セミジャカード横編機の製造販売をしております。

「デザインシステム関連事業」は、コンピュータデザインシステム・アパレルCAD/CAMシステム等の製造販売をしております。「手袋靴下編機事業」は、シームレス手袋・靴下編機の製造販売をしております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	横編機	デザイン システム 関連	手袋靴下 編機	計		
売上高						
外部顧客への売上高	38,806	4,380	1,555	44,742	6,609	51,352
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	38,806	4,380	1,555	44,742	6,609	51,352
セグメント利益	8,767	944	237	9,949	999	10,948
セグメント資産	102,845	5,692	2,136	110,674	9,952	120,627
その他の項目						
減価償却費	1,398	64	58	1,521	185	1,707
のれんの償却額	384	3	0	387	15	403
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	2,723	136	132	2,992	349	3,341

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、編機・デザインシステム用部品事業、修理・保守事業等を含んでおります。

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	横編機	デザイン システム 関連	手袋靴下 編機	計		
売上高						
外部顧客への売上高	22,877	3,611	1,054	27,543	5,663	33,206
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	22,877	3,611	1,054	27,543	5,663	33,206
セグメント利益又は 損失(△)	348	307	△48	607	317	925
セグメント資産	87,903	5,894	2,028	95,825	9,810	105,635
その他の項目						
減価償却費	1,452	79	68	1,601	259	1,860
のれんの償却額	377	3	0	380	15	396
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	1,334	113	66	1,513	216	1,730

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、編機・デザインシステム用部品事業、修理・保守事業等を含んでおります。

4 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	44,742	27,543
「その他」の区分の売上高	6,609	5,663
連結財務諸表の売上高	51,352	33,206

(単位：百万円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	9,949	607
「その他」の区分の利益	999	317
全社費用(注)	△6,309	△6,528
連結財務諸表の営業利益又は営業損失(△)	4,638	△5,602

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

(単位：百万円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	110,674	95,825
「その他」の区分の資産	9,952	9,810
全社資産(注)	24,518	25,059
連結財務諸表の資産合計	145,146	130,695

(注) 全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない余資運用資金(現金預金)、長期投資資金(投資有価証券)及び管理部門に係る資産等であります。

(単位：百万円)

その他の項目	報告セグメント計		その他		調整額(注)		連結財務諸表計上額	
	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度
減価償却費	1,521	1,601	185	259	487	592	2,194	2,453
のれんの償却額	387	380	15	15	—	—	403	396
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	2,992	1,513	349	216	1,141	2,071	4,483	3,801

(注) 減価償却費、有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る資産等であります。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：百万円)

日本	欧州	中東	アジア	その他	合計
8,603	8,959	3,227	28,810	1,751	51,352

(注) 1 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

2 「アジア」に属する地域は、東アジア、南アジア、東南アジア、中央アジアであります。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%を占める相手先がないため、記載はありません。

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：百万円)

日本	欧州	中東	アジア	その他	合計
7,003	6,281	2,535	16,180	1,204	33,206

(注) 1 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

2 「アジア」に属する地域は、東アジア、南アジア、東南アジア、中央アジアであります。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%を占める相手先がないため、記載はありません。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	全社・消去	合計
	横編機	デザイン システム 関連	手袋靴下 編機	計			
減損損失	—	—	—	—	—	10	10

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、編機・デザインシステム用部品事業、修理・保守事業等を含んでおります。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	全社・消去	合計
	横編機	デザイン システム 関連	手袋靴下 編機	計			
当期末残高	2,846	23	1	2,871	116	—	2,987

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、編機・デザインシステム用部品事業、修理・保守事業等を含んでおります。

2 のれんの償却額に関しては、セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	全社・消去	合計
	横編機	デザイン システム 関連	手袋靴下 編機	計			
当期末残高	2,445	20	1	2,466	99	—	2,566

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、編機・デザインシステム用部品事業、修理・保守事業等を含んでおります。

2 のれんの償却額に関しては、セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり純資産額(円)	3,411.08	3,126.86
1株当たり当期純利益又は 1株当たり当期純損失(△)(円)	105.62	△239.68
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益(円)	105.54	—

(注) 1. 当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在するものの、1株当たり当期純損失であるため、記載していません。

2. 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失		
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失(△)(百万円)	3,835	△8,427
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)(百万円)	3,835	△8,427
普通株式の期中平均株式数(千株)	36,311	35,162
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(百万円)	—	—
普通株式増加数(千株)	27	—
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり 当期純利益の算定に含まれなかった潜在株式の概要	—	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

(1) 受注及び販売の状況

①受注実績

当連結会計年度における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：百万円)

セグメントの名称	受注高	前年同期 増減率	受注残高	前年同期 増減率
横編機	22,673	△31.1%	2,913	△6.6%
デザインシステム関連	3,565	△16.0%	195	△19.0%
手袋靴下編機	984	△33.4%	102	△40.5%
合計	27,222	△29.6%	3,211	△9.1%

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

②販売実績

当連結会計年度における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：百万円)

セグメントの名称	販売高	前年同期増減率
横編機	22,877	△41.0%
デザインシステム関連	3,611	△17.6%
手袋靴下編機	1,054	△32.2%
その他	5,663	△14.3%
合計	33,206	△35.3%

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。